

●陶板名画の庭

前回検証結果	要 改 善 ・老朽化の進行により、施設改修が必要となることから、設置目的や経過に、今後の費用負担も含めて検証し、今後の北山エリアの整備基本計画も踏まえ、中長期的な施設のあり方を検討すること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	・SNSの発信を契機とした若者や海外からの入園者数が増加しており、北山エリアの文化発信拠点として、一定の役割を果たしている。 ・北山エリアにおける本施設のあり方については、同エリアの整備基本計画等の検討状況を踏まえ、引き続き検討していく。
なお残る課題・問題点	◆北山エリアの今後の構想において、他の施設等と連携した文化芸術や北山地域の魅力の発信拠点としての更なる活用
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□地域に密着しながら、立地の良さと、施設の付加価値を高める自主事業を通じてさらなる魅力強化が期待できる。 □北山エリアの整備状況を勘案しつつ、エリアの文化・芸術の発信拠点として、更なる認知度及び魅力の向上に期待。 □夜間の開館などにより、観光コンテンツとしての魅力を強化し、入園者増加につなげてはどうか。 □北山エリア全体の活性化が重要であり、本施設を起点とし、多様な主体と連携しながらソフト面を一層充実していくことを期待
京都府の検証結果及び対応方向	継 続 <改善方策> ◎新たな戦略による観光客の取り込み等、更なる利用者の増加を図りつつ、北山エリアの整備状況を踏まえながら、引き続き施設の中長期的なあり方を検討すること。 <今後の対応> ○立地を活かし施設の付加価値を高める取組を実施することにより、さらなる認知度・利用率の向上を図る。 ○北山エリアの整備状況を踏まえながら、施設のあり方を引き続き検討していく。